

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 三次町4158-1地区急傾斜地崩壊事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）

事業名または工事名

調査目的及び調査対象 砂防 構造物基礎

ボーリング名	Bor-3		調査位置	広島県三次市三次町寺戸			北緯	34° 48' 56.6560"	
発注機関	広島県北部建設事務所			調査期間	令和04年12月26日～令和04年12月27日		東経	132° 51' 11.6694"	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	T.P. 172.70 m	角	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機 東邦地下工機D-1B
総削孔長	6.00 m	度		位		配		エンジン	ヤンマーNFD-13
								ポンプ	東邦地下工機BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験					試験	試料採取	室内試験	削孔月日		
										N 値	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数							50回の貫入量	自沈時の貫入量
	171.15	1.55		礫混じり粘土質砂		暗茶褐色		砂は中～粗粒砂を主体とする。φ=5～40mmの亜角礫、風化礫を混入する。粘土分が多い箇所は土丹状コアとなる。	12/27 2.15	4.0	1.15	1	1	2	4					
				安山岩・粘土質砂		茶褐色		安山岩の風化土。コアは土丹(粘土質砂状)～粘土混じり砂礫状を示す。土丹状コアは強指圧にて変形する。岩盤組織はやや不明瞭。岩級区分DLクラス。		37.0	2.15	10	12	15	37					
	169.45	3.25		安山岩・軟岩		淡茶く淡青灰		安山岩の風化岩。コアは岩片状を主体とし、部分的に礫混じり砂状を示す。深度3.45～3.8m間淡青灰・岩片状の風化残り。岩級区分DM(DM～CL)クラス。		88.2	3.15	16	34	70	50	170				
	168.58	4.12		安山岩・軟岩		淡青灰		安山岩の風化岩。コアは岩片状～短柱状を示す。深度5.0mまではコア肌は粗面状、5.0m以深はコア肌は滑らかで岩片は硬質化する。亀裂は水平～45°が主体、キレツ面は褐色に変色。岩級区分CLクラス。		125.0	4.00	18	32	50	120					
				安山岩・軟岩		淡青灰く青灰				50.0	5.00	50	0	0	0					12/26
	166.70	6.00		安山岩・軟岩		青灰				50.0	6.00	50	0	0	0					12/27